

## 令和5年度はこんなことをします

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史講座①(4/22-23)</li> <li>● 維新[ISHIN] 44号発行</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:10/15</li> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:5/5-21</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史講座③</li> <li>● 史跡めぐりバスツアー</li> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:11/19</li> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史講座②(6/16-17)</li> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:6/18</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:12/17-24</li> <li>● 維新[ISHIN] 47号発行</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏休み親子講座(小・中学生対象)</li> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:7/16</li> <li>● 維新[ISHIN] 45号発行</li> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:1/1</li> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> <li>● 維新ふるさと館歴史シンポジウム</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員歴史講座</li> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:8/13-20</li> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> <li>● 歴史の質問、引き受けます(小・中学生対象、毎週水曜日)</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かごしま折々あそび展(あそび体験)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第16回「西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展」(~10月)</li> <li>● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:9/17</li> <li>● 維新[ISHIN] 46号発行</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史講座④</li> </ul>

※イベントなどは開催時期、内容等が変更になる場合があります。

※歴史講座やシンポジウムなどは申し込みが必要になります。



明治維新を分かりやすく、楽しく

# 維新

ISHIN

2023 SPRING

維新ふるさと館情報紙/No.44



## 未曾有の難工事を成し遂げた家老「平田鞆負」

(鹿児島市平之町/平田公園)

## 温故地新

ふるきを温ね、地元を新たに。

### 歴史講座を開講しました

2月24日(金)・25(土)・3月3日(金)の3日間、「日本の近代化~受け継がれた島津斉彬の夢」と題して、佐々木副館長による歴史講座を開講しました。

全6回の講座を138名の方々に聴講いただき、大変好評を得ることができました。受講者からは「薩摩の近代化の歴史を、若者にも何度でも伝えて欲しい」といった感想も寄せられました。

4月の肥後特別顧問による「徳川家康と島津氏」も、たくさんのお客様をお迎えし、開講いたします。今後是非、歴史講座をきっかけに維新ふるさと館にお越しください。



### 「鹿児島城跡」国史跡追加指定!~名称も変更

「鶴丸城」とも呼ばれる鹿児島城は、昭和6年に城域の一部を「城山」として国の史跡に指定されていましたが、今回、御楼門や本丸があった現在の黎明館や県立図書館などの場所を含む12万㎡のエリアが追加指定されることとなりました。

昨年12月に国の文化審議会追加指定するように答申がなされ、3月20日本丸・二之丸を追加指定し、史跡「鹿児島城跡」に名称変更することが決定しました。



### 情報紙「維新」43号 令和5年新春クロスワード



### 答え つるまるじょう

たくさんの方にご応募いただき誠にありがとうございました。

### 維新を歩く

宝暦3年(1753)12月、幕府から薩摩藩に対して、大雨ごとに氾濫をくり返す木曾川(木曾川・長良川・揖斐川の三川)の治水工事が命じられました。

これは御手伝い普請といわれ、工事の設計・監督などは幕府あたり、命じられた藩が資材や人足など費用の大部分を負担して行う築城や治水などの土木工事で、諸大名は、断ることはできませんでした。

当時の薩摩藩主島津重年は、翌宝暦4年(1754)1月、御勝手方家老の平田鞆負を工事の総奉行に任命しました。知識と経験も豊富であることから重年の信頼が厚く、財政担当の家老である鞆負が工事に関わる藩士たち約千人の責任者に選ばれたのは必然と言えました。

工事は、川の水流を大きく変える工事であったため地元住民の苦情が相次ぎ、地元の意見をもとに計画変更しながら進める必要がありました。工事中は、洪水、人手や資金の不足、資材確保、資材運搬、関係藩等との調整などに苦勞しながら進めなければなりません。さらに薩摩藩士の間には赤痢が流行し、33人が犠牲とな

るなど、苦勞の連続でした。後に宝暦治水と呼ばれる、地元民延べ140万人を動員して行われた木曾川治水工事は、薩摩藩士約90人の犠牲を出しつつ翌年3月に工事が完了しました。

幕府の工事見分を終え、国元へ「まづもって頂上の儀(まことに結構)」と書き送った翌朝、鞆負は亡くなりました。公的な記録では病死となっていますが、総工事費約40万両という多額の経費を費やし、多くの犠牲を出したことの責任をとっての自害とも言われています。

幕府の命令で縁もゆかりもない地で難工事に挑み、土木技術の高さを発揮して事業を成し遂げた薩摩の侍たち。この功績は、明治になって岐阜県で顕彰されるようになり、鹿児島では大正になって慰霊碑が建てられ、顕彰活動が始まり、今も続いています。

毎年5月25日、鹿児島県・岐阜県の関係者など多くの参列者を迎え「薩摩義士頌徳慰霊祭」が行われる平之町の平田鞆負屋敷跡(平田公園)。昭和29年(1954)に建てられた安藤士制作の鞆負の像に、薩摩の心意気を見せた家老の雄姿を見ることができます。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)



ホームページ



Twitter



Instagram

イベント予告 薩摩偉人維新伝心隊による

## 「維新演劇シアター」

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。

ザビエルさんが鹿児島にやってきました。言いたいことがあるみたい！西郷さんも巻き込んでどのような物語になるのか!?是非熱いステージをご覧ください！



上演スケジュール

【フランシスコ・ザビエルのYo(私)は何しにかごんまへ?】

2023年5月5日(祝・金)、5月21日(日)、6月18日(日)、7月16日(日)

〈上演時間〉上演日の12:30~13:00(30分間)

〈会場〉維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」

〈観覧料〉無料(入館料のみ)

イベント予告 6月 歴史講座

## 「台湾に尽くした薩摩人」

来る、6月16日(金)・17日(土)、肥後特別顧問による歴史講座を行います。テーマは「台湾に尽くした薩摩人」。台湾振興に尽くした西郷従道や菊次郎、熱帯植物の栽培に取り組んだ田代安定など、薩摩と台湾の関係について解説いたします。

当館多目的ルームにて、全4回88名の聴講が可能です。詳しくはホームページをご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

展示 常設展示 一部リニューアル

### ■是枝柳右衛門の位記...

是枝柳右衛門は、谷山郷松崎の町人出身で、文久2年(1862)の寺田屋事件には脚の病気のため、志士たちとの連絡役を務めていました。事件後首謀者として屋久島に流され、2年後に赦免の命が出ましたが、屋久島で病没しました。



明治政府は、維新殉難者の贈位と靖国神社への合祀を推し進め、名誉回復が進みました。この位記は、寺田屋事件に関連した柳右衛門に対して明治24年(1891)12月17日に贈位された際のもので、同じく寺田屋事件に関連した有馬新七、柴山愛次郎、橋口壮介、西田直五郎、弟子丸龍助、橋口伝蔵、田中謙助、森山新五左衛門、山本四郎の九烈士や、森山新蔵、美玉三平も同時に従四位を贈位されています。

### ■江夏仲左衛門着用の紋服.....

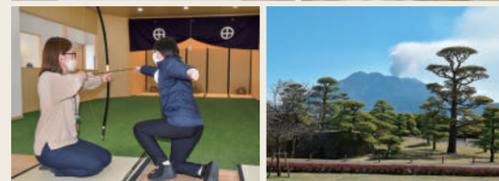
江夏仲左衛門は、寺田屋事件では鎮撫使の一人に選ばれました。裕の紋服は事件のときに着用したものです。仲左衛門は薬丸自顕流の達人でした。



仲左衛門は慶応2年(1866)第2回藩費留学生となり、ロンドンからニューヨークへ留学しました。明治2年に帰国しましたが、翌3年東京で没しました。

世界に誇る伝統美、薩摩切子。仙巖園で文化体験してきました!

## 仙巖園



▲弓矢体験もさせていただきました!

仙巖園といえば島津家別邸と美しい庭園、皆さんも一度は訪れたことがあるのではないのでしょうか。仙巖園には鹿児島ならではの伝統文化を気軽に体験できるコーナーがあります。そこで一番人気の「切子かけらの細工」を体験してきました。

好きなフレームを選び切子のかげらで埋めていきます。猫型のキーホルダー作りに挑戦。切子の小さな粒は、園内の薩摩切子の工房で出てくるかけらや端材を集め、焼き直しにより安全に体験できるように鋭利な部分を滑らかに、そして二度焼きすることでかけらのキラキラ感がアップされて用意されたもの。学芸員の岩川さんに教えていただきながらあっという間にできあがりました。

観光客のためだけのものではなく鹿児島の皆さまにも気軽に体験していただき、身近に感じてほしいと岩川さん。島津家の歴史に触れ、美しい庭園や雄大な桜島の景色を観ながら制作できます。是非お出かけください。



学芸員 岩川拓夫さん

「切子かけらの細工」体験 —— 〈料金〉1,000円

### ■仙巖園

〈開園時間〉9:00~17:00(年中無休)

〈入園料〉大人(高校生以上) 1,000円  
小人(小中学生) 500円

〈住所〉鹿児島市吉野町9700-1

〈TEL〉099-247-1551

イベント かがしま折々あそび展 第2回企画展

12月16日(金)~2月5日(日)の期間、鹿児島の歴史や文化などを紹介するおりがみ作品や、冬から春のむかしあそび、かがしま弁を使ったことばあそびの作品などを展示し、来館者の皆様にご好評いただきました。

おりがみで干支のウサギを作成するコーナーでは、皆様もおもいおもいのかわいいウサギをつくったり、かるたとりやこままわしの体験も楽しんでいただきました。

今後は不定期開催で、夏休みからあそび体験会を行う予定です。当館のホームページや市民のひろばなどでお知らせいたしますので、どうぞご参加ください。



▲ことばあそび体験「鹿児島ことばあそびうたかるた」

むかしあそび「こままわし」

▲おりがみあそび体験「ウサギ」

## 新商品のご紹介

鹿児島のおみやげにプレゼントにいかがですか? 観光客の皆さまに好評です。



- 1 西郷せんべい
- 2 西郷せんべいを使ったクランチチョコ
- 3 ブラジルにマンデリンをブレンドして西郷さんのようにどっしりしたイメージに仕上げた深煎りコーヒー「せごどんのコーヒーバッグ」
- 4 鹿児島黒豚と黒砂糖で丁寧に作られた人気の黒豚みそ
- 5 「桜島!まるごと絵本」
- 6 大島紬のカードケース・パスケース
- 7 西郷モリ盛ハンカチ